

研修等報告書

令和 4年 5月 23日

笠岡市議会議長 殿

議員 真鍋 陽子



下記のとおり研修等を実施したのでその結果を報告します。

記

住 所	倉敷市鶴形1丁目11-11
電 話	086-435-7500
案 件	～HAL@が切り拓く医療・介護現場の“ミライ”～
期 日	令和4年5月21日(土) 9時30分から11時30分
応 対 者	岡山ロボケアセンター株式会社 向谷
訪問施設	倉敷中央病院附属予防医療プラザ5F 古久賀ホール
概 要	<p>岡山ロボケアセンター3周年記念セレモニーとして、世界初装着型サイボーグ HAL@を利用した実践3例の報告に加え、開発者である山海嘉之氏を招いての講演会。装着することで身体機能を改善・補助・拡張・再生することができる HAL@だが、岡山県内においては、岡山ロボケアセンターを中心にして倉敷中央病院、倉敷平成病院、倉敷記念病院において脳卒中やパーキンソン病など大人の神経・筋難病疾患患者はもちろん、小児の脳性麻痺に対しても短期集中トレーニングが行われるなど、病院に加え、通所リハビリテーション施設、介護施設においても HAL@運動療法が行われている。個々の生体電位信号を検出することでモーターを駆動し、装着者の意思に従った動きを実現できる HAL@を利用することで、患者に回復に向けての正のループが形成され、結果として表情が明るくなったり、意欲が増したりするという報告がたくさん見られるなど、地域病院からの報告があった。開発者である山海嘉之氏からは「サイバニクスによる医療・介護・自立支援イノベーション最前線」と題し、地域の中核病院が中心となって地域や各ご家庭でサイバニクスによる医療や介護、フレイル予防実践などが行われるサイバニクス社会を構築することで健康寿命を延ばす実践や取り組み、実践による結果報告などがあった。笠岡市において令和4年度夏頃から HAL@によるフレイル予防実践実験が岡山県立大学との連携により行われることについての紹介もあった。</p>
添付書類	式典式次第 チラシ 研修等資料

【2】

住 所	福山市伏見町4-33	
電 話	084-932-3381	
案 件	夢みる小学校 オオタヴィン監督ティーチイン特別上映会	
期 日	令和 4年 5月 21日(土) 13時20分 から 15時30分 まで	
応 対 者	株式会社フューレック	
訪問施設	福山駅前シネマモード	
概 要	令和2年度 小学校・中学校 不登校児童生徒数は過去最多 19万6127人 (小学校1000人に1人中学校24人に1人)(前年度より1万4855人増) 不登校の要因は「無気力・不安」が最多※	
	令和2年度 小学校・中学校・高校 自殺した児童生徒数は過去最多 415人 (小学生 7人 中学生 103人 高校生 305人)(前年度 317人) 自殺した生徒の置かれていた状況について 最多は「不明」であり、半数を超える※	
	※文部科学省2021年10月13日発表「令和2年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要」	
	激動のAI時代に対応するため、2020年度から教育指導要領が「探求学習」に大きく舵を切ったものの、現状として不登校や子どもの自殺が増加している日本の学校教育。従来からの学校教育が根本から問われている今、日本全国で話題を席卷しているドキュメンタリー映画「夢みる小学校」。カメラが回っているのは体験学習を基に子どもの意思を最大限尊重、宿題がない・テストがない・先生がいない「きのくに子どもの村学園」、通知表がない「伊那市立伊那小学校」、校則をなくした「世田谷区立桜丘中学校」。	
	これらの学校では子どもたちが任され、信頼されることで自らに深い自己肯定感を身に付けることができている。監督によるティーチインでは	
	○「夢みる小学校」は文部科学省選定映画であり、文科省が目指している公教育像の一つであること。	
	○通知表を出すこと、校則を設けることについて、文部科学省は一度も指示をだしていない。すべて慣例として行われていることであり、校長判断、校長裁量で行われていることである。これらは現行の教育指導要領下で全部できること。	
	○通知表や校則を無くすことで、先生方の働き方改革もできること。	
	○学校の先生方はもともと子どもたちが好きで先生になっていること。	
	○茅ヶ崎市立のある小学校では、2年前から通知表が無くなっている。小学校の頃から生徒を評価の対象として見ることに疑問を持っている校長先生や先生がたは存在すること。	
	○マイノリティがマジョリティに合わせないといけない社会から、マイノリティがマイノリティのままで幸せを感じることを、自分は自分のままでいいと思える、たがいを認めあうことのできる多文化共生社会が形成されつつあること。	
	など、様々なお話があった。学校の先生方に観て欲しい映画、と監督は言われていたが、私も先生方にこそ見ていただくことで新しい公教育について議論を深めたい、と考えた。	
	添付書類	チラシ チケット